令和２年第２回市議会臨時会　市長所信表明

令和２年８月７日

皆さん、おはようございます。
議員各位におかれましては、大変ご多用のところ、ご出席をいただきましてありがとうございます。また、平素から市政の発展、市民福祉の向上のためにご尽力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

まず、各地で発生いたしました豪雨被害について、でございますが、７月に入りまして、停滞した梅雨前線の影響により、九州から北陸、東海地方の広範囲で、記録的な大雨が続き、各地で河川の氾濫による浸水被害やがけ崩れによる土砂災害が発生し、熊本県を始めとする九州地方や全国各地で多くの尊い命が失われました。
亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げる次第でございます。

さて、今議会は、市長就任３期目を迎えての初めての議会となります。
只今議長から、３期目における市政運営の所信を表明する機会を与えていただきましたことに深く感謝申し上げ、就任のあいさつを兼ねまして、市政に臨む所信の一端を述べさせていただきます。
先月１２日に執行されました市長選挙におきまして、市民の皆様から２万６千７５２票もの投票をいただき、３期目の市政運営の舵取りをさせていただくこととなりました。
無風状態から一転しての選挙戦となりましたが、平成２４年に市長に就任して以来の、２期８年の私の市政運営に対しまして、市民の皆様が評価していただくと同時に、選挙戦を通して今後の市政運営に対しまして、冷静な判断をしていただいた結果であると、喜ばしく思う反面、１０万４千有余の市民が暮らす印西市の市長として、その果たすべき責任の重さと、使命の大きさに、決意を新たにいたしますとともに、身の引き締まる思いでございます。
そして、本日、こうして皆様の前に立つことができますのは、私の市政運営に対する議員の皆様をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力の賜物でございます。心から感謝を申し上げます。

さて、私は、市長に就任して以来、「市民の皆様からお預かりする貴重な税金を決して無駄遣いすることなく、子育て、教育、福祉といった市民の皆様のため

の施策に還元する」という議員時代からの変わらぬ姿勢で、「とことん市民目線」を市政運営の理念として、様々な課題に鋭意取り組んでまいりました。

この間、クリーンセンターの９住区への移転の白紙撤回と吉田地区への移転決定、小中学校の普通教室へのエアコンの設置とトイレの洋式化、１８歳以下の子どもへの医療費助成、いんざい健康ちょきん運動の推進、小学校の修学旅行費の補助や、高等学校等への就学奨励制度の創設など、公約に掲げた施策を着実に実現してまいりました。

一方で、保育園及び学童保育の待機児童対策につきましては、私が市長に就任後、施設整備費や運営費の補助を行いながら、私立保育園・認定こども園が２２園、学童クラブが１６クラブ、新たに開所しておりますが、人口の増加に伴い、需要に追い付いていない状況となっております。

また、地域住民が切望する北総線の高運賃の是正など、粘り強く取り組んでいかなければならない課題もあります。

ほかにも、千葉ニュータウン中央駅南側のＵＲ跡地への複合施設の整備や、デキシー跡地への賑わいの場の創設、印旛中央地区の事業化による有効な土地活用など、課題は数多く残っております。

私は、こうした山積する課題に真正面から取り組み、ようやく花を開かせ、実を結ぼうとしている千葉ニュータウン事業の完遂を見届け、10万人都市に相応しい、市民の皆様が「住んでいて良かった」と実感できる、これから50年、100年と発展を続ける、輝かしい印西市の礎を築きたい、という強い思いから、3期目の市長選挙に出馬をいたしました。

私は、このような現状の課題を踏まえ、市民の皆様が「住んでいて良かった」と実感できる印西市を創るために、３期目の公約といたしまして、大きく６つの柱に沿った施策を掲げました。

まず公約の１つ目の柱は、最優先課題となります、新型コロナウイルス感染症対策でございます。

緊急事態宣言が解除され、２カ月以上が経過いたしましたが、東京都をはじめ千葉県を含む首都圏や全国各地で集団感染が確認されるなど、連日多くの感染例が報告されており、印西市におきましても、７月９日には、５月２日以来となる症例が報告され、その後も引き続き、感染例が確認されるなど、再び予断を許さない状況となっております。

これまでも、新型コロナウイルス感染症対策といたしましては、「市民の生命と健康を保護すること」並びに「市民生活及び経済に及ぼす影響を最小限にとどめること」を柱に、第１弾、第２弾の補正予算を組み、取り組んでいるところでございますが、常に緊張感を持って、状況に応じた対策を講じる必要があります。

そうした中で、市民の生活支援策の一つといたしまして、保育園、幼稚園の登園自粛や、小中学校の休校措置などにより影響の大きい、ひとり親家庭の生活を支援してまいります。
また、再び小中学校が休校となった場合に、教育格差が生まれないよう、教育環境の充実を推進いたします。
さらに、新型コロナウイルスに対応した避難所運営を行えるよう、必要な資機材等を整備してまいります。

２つ目の柱は、防災対策と防災拠点の機能強化でございます。
昨年は、相次ぐ台風の上陸や大雨により、千葉県を中心に、各地で甚大な被害が発生いたしましたが、冒頭でも述べたように、今年も既に、豪雨による河川の氾濫等によりまして、九州地方をはじめ広い範囲で、大きな被害が出ております。
また、ここ数カ月では、最大震度４クラスの地震が、千葉県で頻発しており、いつ何時、大地震に見舞われるか、予断を許さない状況となっております
昨年は、暴風雨の影響により、各地で、長期にわたる停電に見舞われたことを踏まえ、災害時における停電対策といたしまして、電気自動車や非常用ＬＰガス発電機など、避難所等の電源確保手段の多重化を図ってまいります。
また、現在進めている防災井戸の整備に加え、災害時の備えとして、災害用トイレを充実させ、衛生面に配慮した安心の仕組みを作ってまいります。
さらに、復旧・復興拠点や復旧のための中継基地等となる防災拠点としての機能を持つ松山下公園への道路整備を推進いたします。

３つ目の柱は、待機児童対策と子育て支援策の充実でございます。
徹底した保育園の待機児童対策をはじめ、「出産・子育て相談センター」の設立や、産後ケア体制の充実、病児・病後児保育の充実を図ります。
また、待機児童の多い小学校区等については、民設民営を含めた学童クラブの増設等についても検討を進めます。
さらに、子育て世代の経済的負担の軽減を図るために、現在実施しております、修学旅行への補助を中学校まで拡大するとともに、小中学校に在学する第３子から給食費の負担をなくします。

４つ目の柱は、高齢者の健康増進支援でございます。
現在進めている、いんざい健康ちょきん運動の拡大に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの構築を図りながら、高齢者が地域で自分らしく生活できるための一助として、聴力低下により、日常生活に支障のある高齢者が補聴器を購入する際、費用の一部を助成してまいります。

５つ目の柱は、教育環境の充実と地域の文化、芸術支援でございます。
児童生徒の増加に即応した校舎の増築や改修、学校施設の長寿命化を図り、教育環境を向上させてまいります。
また、ＩＣＴ教育を推進することで子どもたちの可能性を拓いてまいります。
さらに、古くから伝わる地域の宝である有形、無形の文化財を保護するとともに、地域文化、芸術の活動を支援してまいります。

６つ目の柱は、地域の利便性の向上や賑わいの場を創出するまちづくりの推進でございます。
先ほども言及いたしました、千葉ニュータウン中央駅南側のＵＲ跡地への複合施設の整備につきましては、住みよいまちの豊かな暮らしを育む複合拠点として、市民の皆様に長く利用され続けていく施設にしていきたいと考えております。
また、木下駅南側のデキシ―跡地につきましては、地域住民の皆様と様々な視点から検討し、木下駅圏を発展させ、地域住民の福祉の向上を進めてまいります。
また、閉校となった学校の活用、印旛中央地区の事業化への協力を進めるとともに、地域住民の念願である、北総線の高運賃の是正と、利便性の向上のため、粘り強く取り組んでまいります。

私は、こうした施策に「とことん市民目線」で取り組み、世代を超えて生きがいのある印西市を創り、市民の皆様が「住んでいて良かった！」と実感できるまちづくりを進めてまいります。
市民の皆様から与えられました、この３期目の４年間を、市民の皆様のため、印西市のために全力で市政運営に取り組んでまいる所存でございますので、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜わりますよう、お願いいたしまして、３期目を迎えての私の所信表明といたします。
皆様、どうぞよろしくお願いいたします。